

## 新評論

2022  
4  
No.322発行所 © 新評論 2022年  
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28  
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832  
http://www.shinhyoron.co.jp  
e-mail: shm@shinhyoron.co.jp  
振替 00160-1-113487 価格税込

本書でとりあげられる現代美術家・会田誠の2018年の作品《セカンド・フロアリスム宣言草案》(部分、©AIDA Makoto)。コンクリートの瓦礫とちりちりした穴が「2階建て以上の建物も法も要らない」とつづいている。

戦禍と災厄の暗がりを縫って「かけがえのない離脱のとき」を生きるために。文明の黄昏のなかで紡がれた犀利な思考の記録

## 青空と文字のあいだで

白石嘉治

◆ジャンル:現代思想  
【帯文:栗原康氏】

文明とは、法を策定しつつ、われわれを巨大建築(ピラミッド、城、教会、タワーマン、原発……)の建造へと動員する奇妙な意思である。だが、今世紀には世界貿易センタービルが倒壊し、原発が爆発し、高層住宅が叢生する中国からパンデミックが発生し、ついにはまたも文明の原郷のひとつで戦争がはじまってしまった。破綻の徴候はあきらかである。おなじことは法についてもいえる。そもそもこの数十年にすめられてきた「規制緩和」とは、法そのものの溶解にほかならない。

本書はこの一〇年あまりに書きつづけた文章の集成である。文明の黄昏のなかでの思考の痕跡といってもいい。第I部で語られるのは、離脱が蜂起となる理路である。現代思想の開始をつけたレヴィ・ストロースの『悲しき熱帯』は、社会からの離脱と労働の中断を言挙げしておわる。その思考はやがて『ジレ・ジョーヌ(黄色いベスト)』たちの蜂起へと結晶するだろう。第II部では、そうした蜂起の諸契機が「就活」や「婚活」といった

われわれの日常のなかにさぐられる。

そして第III部では、概念としての「大学」がねりあげられる。大学とは施設でも制度でもなく出来事であり、文明やそこから派生する国家からの離脱である。だからつねに蜂起とともにある。本書になにがしかの今日的意義があるとすれば、離脱が蜂起でもあるような境位としての大学にふれていることだろう。文明はおわるのだろうか？ われわれは法の裁きと決別できるのか？ たしかにことは、文明のもとで戦争は不可避だということである。そして文明後のユートピアとは、おそらく大学のいとなみだけが償の義務であるようなアレクシマン・メントである。文明が潰れても、青空と文字のあいだで、われわれは語りつづけ、歌いつづけるだろう。災厄と戦禍の暗がりのなかで、本書がなつかしくもあたらしい歌を口ずさむささやかな手がかりとなればと願う。

(つらいつ・よしはる)

ISBN978-4-7948-1208-7

4月下旬刊

四六版フランス装 二七〇頁 二四二〇円

著者 1961年生まれ。上智大学ほか非常勤講師。著書に『不純なる教養』(青土社)、『増補 ネオリベ現代生活批判序説』(大野英士との共編著)、『文明の恐怖に直面したら読む本』(栗原康との共著、Pヴァイン)、編訳書にM・クレボン『文明の衝突という欺瞞』など。





1979年KDD事件の際は経営刷新を求める大規模なデモを実施した(写真提供:情報労連)

「スマートな労組」?とんでもない!激しく逞しくドラマチックな闘いの歴史を余さず描く、刺激に満ちた傑作ノンフィクション

# ビヨンド!

KDDI労働組合20年の「キセキ」

本田一成

◆ジャンル:ノンフィクション/社会/労働組合

「労働組合ってというのは、先輩たちから預かった財産・宝物。だから、常に磨き続けて、ピカピカにしておかなきゃいけない。もし、磨き続けることができないなら、せめて汚さずに次の世代に渡していかなきゃあかんよな。それがお前さんたちの使命なんだ」(元KDDI労組本部執行委員・杉山豊治)

これが国際電電労組、KDDI労組を経て、激動の情勢下で二〇〇〇年に誕生したKDDI労組の、今に受け継がれる精神だ。本書は同労組の絶望と希望、その二〇年間の「軌跡」に迫るノンフィクションである。

華々しくも熾烈な競争を繰り広げるICT業界にあって、ベースアップを実現しながら、勤務間インターバル制度、非正規社員の待遇改善、被災地支援など数々の取り組みで「先駆的」と呼ばれるKDDI労組は、労働界では「スマートな労組」という印象をもたれ、名声を集めてきた——スマート? 実は全然、そんなことはない!

「稲盛イズム」が吹きあれるなか、逞しい気概をもって巻き返しを試みてきた。度重なる企業合併やグループ化で減り続ける加入。次々に見直しを迫られる労働制度。だがそれら数多の葛藤や苦難から

決して逃げず、闘い続けたことで、必然とも思える「奇跡」をつかんだ。NHK「プロジェクトX」で見えるような激しくドラマチックな歴史がそこにある。

日本の推定組織率は二〇二一年に一七%を切り、労働者の六人に一人にしか労組に加入していない。一七%のほとんどは企業別組合員であり、ユニオンシヨツプ制(入社時に労組加入)が効いている。しかも推定組織率は、実際の組織率(主体的、積極的に労組の活動に参加している組合員の組織率)とは違う。労組側は苦境に追い込まれた労働者たちを一人でも多く把握し、仲間とする必要がある。そして労働者側も、組合の意義を見つめ、相互扶助の意識を高めることが求められる。企業別組合の本当の姿を凝視し、将来を考えていくために、労組関係者だけでなく、未加入の労働者、管理職、経営者にもぜひ読んでいただきたい。

(ほんだ・かずなり)

ISBN978-4-7948-1307-0 4月下旬刊

四六並製 三三四頁 予二六四〇円

本のオルグ!オルグ!オルグ!

評成の(労働組合はいかにしてつくられたか) 三〇八〇円

写真記録・三島由紀夫が書かなかった

好田近江絹糸人権争議

本(絹とクマアイ) 二六四〇円

著者 武庫川女子大学経営学部教授。博士(経営学)。人的資源管理論、労使関係論専攻。主な著書として、「オルグ!オルグ!オルグ! 労働組合はいかにしてつくられたか」、「写真記録・三島由紀夫が書かなかった近江絹糸人権争議」(共に新評論)などがある。





本書カバーデザイン(予定)

詩的な文章とアーティスティックな絵で「地上のあらゆる生命の連関」をイメージ豊かに美しく描くエコロジー絵本

# きみは星のかげら

エリン・ケルシー(文)／ソイアン・キム(絵)

光橋 翠 訳

◆6歳以上向け絵本(おとなもたのしく読めます)

「きみのからだはビッグバンでくだけちった星のかげらでできている」。この美しい絵本は、そんなイメージで幕をあけます。サイエンス絵本の古典中の古典『せいめいのれきし』(岩波書店)のイメージのエコロジー絵本の誕生です。

生きものに欠かせない水や空気は、どこから出てきてどこへ行くの？ 人間のからだは、なぜすこしずつおおきくなるの？ 小鳥たちは、あのかわいい声でなにをしゃべりしているの？

本書はこうした問いとそれへの答えを、世界的な環境科学者の正確で詩的な文章と、気鋭のアーティストの壮麗な立体作品コラージュによって、ロマンチックかつダイナミックに描きだし、子どもが「地球四六億年の歴史」や「生命の起源」、「地上のあらゆる命のつながり」をイメージ豊かに思いえがく手助けをしてくれます。「脳内の電気信号と稲妻」「くしゃみと竜巻」といった、たのしい連想も読みどころです。

人類が気候変動をはじめとする環境破

壊や感染症の脅威(そのいずれも人類が主因でもあるわけですが)に直面しているいまこそ、そして戦争というもつとも愚かしい行為がはじまってしまいたいからこそ、地球の未来をになう子どもたちに希望を手わたさなければなりません。自然と生命への想像力をはぐくむ最良の手引きとして、ぜひお子さんや児童・生徒さんたちといっしょに本書をひもといてみてください。

「原子」「細胞」「熱帯雨林」など、すこしむずかしいことばもでてきますが、巻末にわかりやすい訳注をつけていますので、ちいさなお子さんにはそれをもとに説明してあげてください。

なお本書は、同著者たちによるシリーズ(全四冊)の邦訳第一弾です。二冊目以降はそれぞれ「生きものの知恵」「自然の中の生命のつながり」「死と別れ」をテーマとしています。続刊にもどうぞご期待ください。(編集部)

ISBN978-4-7948-1209-4

5月上旬刊

B5変型(223×182mm)上製

予四八頁 予一七六〇円

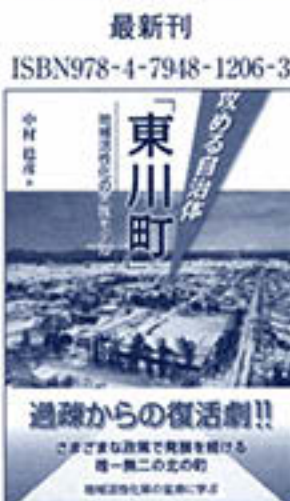
著者 Dr. Elin KELSEY カナダ出身の世界的な環境科学者、環境活動家。人間と自然の関係を探求する著書多数。元スタンフォード大学ほか客員研究員。Soyeon KIM カナダで活躍する韓国人アーティスト。身近な素材を用いた三次元の立体作品を得意とする。



## 攻める自治体「東川町」

中村稔彦

〔地域活性化の実践モデル〕 人口減に見舞われ、過疎指定を受けながらもユニークな施策で発展を続ける唯一無二の北の町。



最新刊  
ISBN978-4-7948-1206-3

## 東川町ものがたり

写真文化首都「写真の町」東川町編

〔町の「人」があなたを魅了する〕 国道・鉄道・上水道のない町の驚愕の「凄さ」！カラー口絵八頁。

「毎日新聞」他紹介  
ISBN978-4-7948-1045-8



## 生のための授業

M.ベルンセン / 清水満訳／企画協力：オ・ヨンホ

〔自信に満ちた子どもを育てるデンマーク最高の教師たち〕 悩める日本の教師にデンマークからのアドバイス。



好評刊  
ISBN978-4-7948-1203-2

## スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む

ヨラン・スバネリッド / 鈴木賢志・編訳

〔日本の大学生は何を感じたのか〕 投票率85・8%の国では、小学校社会科で何を教えているのか？

久米宏氏、座間宮ガレイ氏絶賛  
ISBN978-4-7948-1056-4



## 感情と社会性を育む学び (SEL)

M.スプレング / 大内朋子・吉田新一郎訳

〔子どもの、今と将来が変わる〕 知識的な学びに偏った学習から、感情と社会性を重視する学習へ！最新の教授法。



最新刊  
ISBN978-4-7948-1205-6

## 国語の未来は「本づくり」

MP・ジョンストン他 / M.クリスチャンソン・吉田新一郎訳

〔子どもの主体性と社会性を大切にする授業とは？〕 子ども自身が作家となつて書きたいものを書き、本にする授業へ。

「中日／東京新聞」紹介  
ISBN978-4-7948-1196-7



## 学校のリーダーシップをハックする

J.サンフランシスコ・T.シナリス / 飯村幸史・長崎政浩・武内流加・吉田新一郎訳

〔変えるのはあなた〕 自らが創造的な模範を示し、学校と地域の活性化に尽力する「校長先生」の新たな像。



好評刊  
ISBN978-4-7948-1198-1

## 質問・発問をハックする

C.ハミルトン / 山崎亜矢・大橋康一・吉田新一郎訳

〔眠っている生徒の思考を掘り起こす〕 生徒主体の授業を実現するために「問い」をハックしよう！

好評刊  
ISBN978-4-7948-1200-1





## 開発との遭遇

A・エスコバル／北野 収訳・解説

〔第三世界の発明と解体〕「開発言説」の機軸を解明、「開発幻想」からの覚醒を説く開発学の古典。

A5上製 予五三六頁 予六八二〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1201-8



## ブラック・アテナ

M・バナール／片岡幸彦監訳

〔I.古代ギリシアの捏造 1785-1885〕

西欧中心主義的な偽「正統世界史」を修正し近代学芸精神を徹底批判。

A5上製 六七二頁 七一五〇円

立花隆氏絶賛！3刷出来  
ISBN978-4-7948-0737-3

## 運動部活動の社会学

下竹亮志

〔「規律」と「自主性」をめぐる言説と実践〕若者・スポーツ・日本社会の関連性を読み解く社会学の野心的試み。

四六並製 三五六頁 三〇八〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1202-5



## ひょうろく「兵六」

柴山雅都

〔風を感じるこだわりの居酒屋〕

愛され続ける居酒屋の歴史・秘話・魅力を3代目亭主が語り尽くす。

四六並製 二四〇頁 二二〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1179-0



## ひとつからはじめよう

紋…ブーザン・レイノルズ／島津やよい訳

ひとつのアクションが「水におちたひと粒の小石」のように大きな波を生む…「行動」の大切さを説く希望あふれる絵本。

A4変型上製 三三二頁 一三二〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1204-9



## ぼくは にんげん

紋…ブーザン・レイノルズ／島津やよい訳

〔おもいやりてほしいだね〕絵本のド

リームチームがおくる希望に満ちた人間讃歌。世界的ベストセラー日本初上陸！

A4変型上製 三三二頁 一三二〇円

『この本読んで！』紹介

ISBN978-4-7948-1152-3



## すてきなテーブル

P・レイノルズ(文・絵)／島津やよい訳

「黙食・孤食」「スマホ依存」をいっしよに解決！バラバラの家族を再び結びつける心あたたまる物語。

A4変型上製 四〇頁 一七六〇円

『この本読んで！』紹介

ISBN978-4-7948-1194-3



## ぼくのなかの木

コリーナルウケン(文・絵)／島津やよい訳

自然とともにある人間の生を、はじける色彩の層で豊かに描く。自然・生命・環境について考えるのに最適な絵本。

A4変型上製 五四頁 一九八〇円

NHKラジオ「マイあさ」紹介

ISBN978-4-7948-1181-3





# 選挙ウォッチャーちだい『NHKから国民を守る党』とは何だったのか？

## 自らの持つ一票の重みを考えさせてくれる

■評者 コスモスクエア(2022年1月24日 [note.com/cosmosquare/](http://note.com/cosmosquare/))

選挙における風物詩の一つに、いわゆる「泡沫候補」と呼ばれる候補者たちがいる。古くは赤尾敏や東郷健、少し前なら外山恒一や又吉イエスだろうか。彼らの多くは志をもって立候補するも、その多くが、いや全てがと言っても過言ではないが、落選の憂き目にあつてきた。

2016年東京都知事選挙に「NHKをぶっこわす」というキャッチフレーズで出馬し、一躍注目を集めた立花孝志氏も、そういった一人であると多くの人が思つたのではないかな。

しかし、立花氏と彼の率いる「NHKから国民を守る党」(以下N国党)(現在の党名は「NHK受信料を支払わない国民を守る党」)はその後、全国の地方議員選挙で当選を重ね、2019年の統一地方選挙では26名を当選させ、同年行われた参議院選挙の比例代表で1議席を獲得、国政政党にまで躍進した。

炎上商法的な立花氏のYouTubeチャンネルとしての活動や、当選確率の高そうな選挙区でのドブ板選挙、

「NHKのスクランブル放送化」というワン・イシュー政策のわかり易さが支持を集めただけでなく、既存の政治への不信感や社会へのルサンチマンを抱える人々が「泡沫候補」というネタを「国政政党」というベタな存在に変えた(その意味では笑えなくなった)側面もあるのだろう。

だが盛者必衰の理か、この参議院選挙を頂点にN国党は衰退の坂道を駆け下りていく事になり、去る2022年1月21日には党首の立花氏は不正競争防止法違反・威力業務妨害などの罪で懲役2年6ヶ月(執行猶予4年)の判決を下されている。

本書は「選挙ウォッチャー」として活動し、ネットメディアにてN国党の危険性に警鐘を鳴らし続けていたジャーナリストのちだ氏とN国党の4年にわたる闘争の記録をはじめ、N国党の盛衰史や選挙戦略の考察など、など多岐に渡る内容をまとめた一冊である。スラップ訴訟と認定された裁判を含めた10件近い訴訟をはじめ、

各種パンフレットや飲食物、はては昆虫(一)まで送りつけられるなど度重なる嫌がらせを受けている著者だが、その筆致はあくまで冷静であり、積み上げられた事実から導き出された立花氏のパーソナリティ考察はN国党の今後を占う指針にもなり得るものだ。巻末に付されたN国党所属議員一覧や年表形式の「NHKから国民を守る党」盛衰史など、充実した資料も本書の特色の一つである。またN国党から派生した平塚幸氏率いる「国民主権党」や、加計学園問題をきっかけに台頭し、現在はN国党の選挙対策本部長を務める黒川敦彦氏率いる「つばさの党」など、N国党周辺の泡沫政党の危険性への指摘も、全国の選挙を取材する著者ならではの目配せが効いている。

本書から読み解けるのは、ただN国党が反社会性をもった問題のある集団であるという事だけではなく、ルサンチマンをこじらせた「ワンチャン」狙いで脱法的な手法で成功を掴もうとする事より、目標を持って地道な作業を厭わない事の強靱さもまた表現されている。これを可視化するものの一つが選挙だとも言えるだろう。

本書は「NHKから国民を守る党」とは何だったのか?と題されているが、N国党の問題にとどまらず、選挙とは、民主主義とは、そして一票の重みとは何かを充分に考えさせてくれる一冊である。本書を手にした一人でも多くの読者が、自らの持つ一票の重みについて考える事が、「選挙ウォッチャー」である著者の本懐ではないだろうか。

## 「NHKから国民を守る党」 とは何だったのか?

選挙ウォッチャーちだい

イジメ・嫌がらせ・脅迫、スラップ訴訟、人権無視・差別容認発言…政党の皮を被った反社カルト集団を徹底追及!

四六並製 二六〇頁 一六五〇円

「東京/中日新聞」書評  
ISBN978-4-7948-1197-4

**NHKから国民を守る党**とは何だったのか?

選挙ウォッチャーちだい

皮を被った反社カルト

選挙ウォッチャーちだい



## 本を売る

本の向こう側にある笑顔のために

初めて0から作り上げた企画が、元カープ高橋慶彦さんのトークイベントだった。右も左もわからない中、高橋さんの事務所交渉し、出演までこぎつけた。会場も決まり、あと必要なのはインタビューアーの人選だけだった。あの頃の私には伝手も何もなく、ひたすらネットで調べ、一人の男性（仮にA氏とする）に行き着いた。アポを取り、簡単な企画書を手に会いに行った。非礼を重々承知で、「謝礼はご用意できません。でも、どうしてもAさんに聞き手としてご出演をお願いしたいのです」と率直に申し上げた。有り難いことにA氏が二つ返事で引き受けてくれて、最終的にイベントは大成功をおさめ、会場は多くの人の笑顔で埋め尽くされた。

そこから、ヤクルトのマスコット「つば九郎」を招いての発売記念お渡し会、大日本プロレスによる無料興行など、本と絡めた様々なイベントを行ってきた。会場にはいつも笑顔が溢れた。イベント

以外にも、書店を楽しい場所だと認識してもらうために、他にはないような店作りを努めてきた。メディアに取り上げられる度に仕事の幅も広がり、今ではテレビやラジオ、新聞のコラムなど様々な場で本や書店の楽しさを伝えている。いずれも一切手を抜かず、身を削ってやり抜いてきた自負はある。しかし、ここまでやってこれたのは、A氏との出会いが大きい。最初に名も知れぬ書店員の話に耳を傾け、こちらの熱意に込めてくれたA氏は、その後も「君はこれから、広島の書店業界を盛り上げていく人間だ」と背中を押し続けてくれたのである。

本は一人では作れないし、売ることでもない。多くの人の関わりで1冊の本が世に送り出されるのと同じく、多くの人の手によって販売される。私は書店員だ。本を売ることが仕事である。だからこそ人との繋がり、感謝を忘れずに、これからも書店をおもしろい場所にしていきたい。

ジュンク堂書店広島駅前店  
三浦明子

本誌表示価格はすべて税込です。

## 書評日誌(1・14~2・1)

●書評 ●紹介 ●関連記事

- 1・14 ●週刊読書人「『価値を否定された人々』(小俣和一郎)」
- 1・15 ●東京新聞『国語の未来は「本づくり」(三品信)』  
●(社)日本野外生活推進協会 News letter (Vol.12)『幼児から民主主義』
- 1・24 ●HOKKAIDO LIKERS『ブラボー!大雪山』(著者インタ

- ビュー)
- 1・31 ●西日本新聞(筑後版)『九州独立と日本の創生』(著者インタビュー)
- 1月号 ●書標『すてきなテーブル』
- 2・1 ●SLPA(NPO法人学校図書館実践活動研究会会報)『静かな子どもも大切にする』  
●保育通信『幼児から民主主義』

好評刊

ISBN978-4-7948-1199-8



九州独立と日本の創生  
筑後川入道九仙坊  
「楽しいサステイナブルな社会をめざす」「カッパの大将」九仙坊が熱く語る、九州の底力と日本の未来。  
四六並製 三八四頁 三三二〇円

## 九州独立と日本の創生

「朝日新聞」書評・2刷出来  
ISBN978-4-7948-1192-9

「価値を否定された人々」  
中野智世・木畑和子・梅原秀元・紀愛子  
「ナチス・ドイツの強制断種と「安楽死」」  
加害犠牲者の両面からこの事象を解明し、過去と地続きの「今」を逆照射する。  
四六上製 三三六頁 三三〇〇円



## 本を読む

## 生のための授業

「プロローグ」から引き込まれ、子をもつ親として、また教師として、「人生がスタートした最初の数年間くらいは子どもであってほしい」(69頁)という記述に深く共感します。特に第10章の実践は非常に新鮮でした。「自然の重視」「現実世界の探索」「成績や試験のプレッシャーから子どもを救う」等々、東アジアの詰め込み教育とはまったくベクトルの違う教育観に触れ、多くを考えさせられました。同時に現状への危機感も深まりました。(東京都 小学校教師 K・A)

## オランダ・ミラクル

前半のオランダ史に引き込まれ、問題・課題の背景がわかりました。長時間労働が常態化している日本では暮らしたにゆとりがなく、地域の世話役(町会長、民生委員、相談役等)のなり手がなく苦勞して

います。老後はボランティアで社会参加ができるオランダ社会が羨ましい。参加のあり方を工夫しなければ。(秋田市 団体役員 渡部雅子 78歳)

## 善のはかなさ

ナチス関係の本はそれなりに読んできたつもりだったが、ユダヤ人移送に消極的対応をしたブルガリアのようなケースがあったことは知らなかった。救いのない話題の中にもかすかな光があったことに希望を感じた。(旭川市 団体職員 角一典 50歳)

## 好評刊

## オランダ・ミラクル

(人と地域の「力」を信じる高齢者福祉)  
松岡洋子 三七四〇円

## 善のはかなさ

(ブルガリアにおけるユダヤ人救出)  
T・トドロフ 編集・テキスト収集及びコメント／小野瀬 三三〇〇円

## 学習会話を育む

(誰かに伝えるために)  
J・ズイヤー／北川雅浩・滝田 徹・吉田新一郎訳 二六四〇円

## 編集部から

世界的な人類学者A・エスコバルの代表作にして批判開発学の古典『開発と遭遇』遂に刊行。第二次大戦後、世銀+IMF主導で始まった途上国相手の「貸し剥がし」の巨大な機制が解き明かされる。国際的な「開発への抵抗」を賦活する上で必読の書。▼今次の戦争もまた大戦後の国際枠組みに根の一端をもつ。われわれはブーチン政権の圧政・侵略・殺戮のみならず、「自由」を盾に国民を戦わせるゼレンスキー政権、NATOはじめあらゆる軍事同盟とそれらが掲げる集団的自衛権および核抑止力論を糾弾する。断固反戦・反核・反ファシ・反ネオリベ!▼名著「ネオリベ現代生活批判序説」の編者白石嘉治氏は、文明のもとで戦争は不可避だと説く。新刊「青空と文字のあいだで」は、文明からの離脱と労働の中断の夢をえがく氏の最新エッセイ集。乞うご期待。

## 営業部から

▼ご購入特典「特製オリジナルしおり」進呈のご案内 日頃より小社書籍をご愛読賜り、誠にありがとうございます。このたび、小社書籍を「注文・お買い上げいただいたお客様へ、日頃の感謝の気持ちを込めて「特製オリジナルしおり」を進呈させていただきますこととなりました(ご注文・ご購入1件につき1枚)。国産間伐材のヒノキで作られた、環境に優しく香りの良いしおりです。小社に直接ご注文いただいた場合はお送りする書籍に同封いたします。書店などでご購入いただいた際は、書籍に添付されている「読者アンケートハガキ」に必要事項と書籍の感想をご記入のうえ、小社までお送りいただくことに進呈させていただきます。▼SBC(新評論ブッククラブ)会員の皆さまには、ポイントカードの発送時に同送させていただきます。▼しおりの数に限りがございますので、なくなり次第終了とさせていただきます。ご注文・ご購入を心よりお待ちしております。

## SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料!各種特典あり!お申し込みを!

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に送付しております。入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことで、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。ご入会希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メール、またはハガキにて、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。